

大規模学区が Akamai で PCI DSS コンプライアンス 体制を改善



包括的なネット
ワーク可視性



きめ細かいセグメン
テーションポリシー



脅威の検知と
対応機能の統合

お客様

米国におけるこの大規模な学区では、毎年 18 万人以上の学生にサービスを提供しています。

課題

コンプライアンスの促進

同学区では、重要な財務アプリケーションへのアクセスを制御する追加措置を講じない限り、Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS) コンプライアンスの内部監査に失敗する恐れがあると判断しました。

きめ細かい可視化とセグメンテーションポリシーがあれば、コンプライアンス違反のリスクを減らし、全体としてセキュリティ体制が強化されます。そこで、学区の IT リーダーが最適なセグメンテーションソリューションの模索に乗り出しました。

ソリューションの選択

同学区は、既存のソリューション投資と、市場にある他の新たなソリューションの可能性を評価しました。最終的にその要件を最も満たしたのが、Akamai Guardicore Segmentation でした。

このソリューションは、水平方向 (East/West) のトラフィックをきめ細かく可視化するとともに、使いやすいセグメンテーション機能を備えていました。さらに、このプラットフォームはソフトウェア定義アプローチを採用しているため、セキュリティポリシーを展開する際にネットワークやアプリケーションを変更する必要がないという利点もありました。

ラボ環境における Akamai Guardicore Segmentation の評価には、第三者のコンサルティング会社も参加しました。評価プロセスが順調に進んだ後、学区は購入を決定し、重要な財務アプリケーションのセグメント化を進めました。



Large U.S.
School District

業種
教育

ソリューション

[Akamai Guardicore Segmentation](#)

主な効果

- コンプライアンスをシンプル化し促進する
- 重要なアプリケーションをリングフェンシングする
- 迅速なインシデント対応を可能にする



Akamai Guardicore Segmentation のメリット

きめ細かい可視性とポリシー

Akamai Guardicore Segmentation の導入により、学区は水平方向（East/West）のトラフィックアクティビティを詳細に表示させ、きめ細かいセグメンテーションポリシーで資産へのアクセスを制御できるようになりました。

この機能を活用することで、セキュリティチームは重要なアプリケーションに関連するアクティビティを明確に確認できるようになりました。その後、ビジネスを中断することなく、PCI DSS の技術要件を満たすための適切なポリシーを導入できました。

重要な資産の保護

学区の主な目的は財務アプリケーションとそのデータを保護することでしたが、同学区の IT リーダーは、Akamai を使ったセキュリティ戦略の長期計画を考えています。

学区の CISO は「私が Akamai を選んだ理由は、このプラットフォームを単なる運用ツールではなく、セキュリティ製品として考えたからです」と説明しています。

このプラットフォームには、学生の機微な情報が含まれている、学区の環境が侵害された際のラテラルムーブメント（横方向の移動）を防止する多様な機能が備わっています。学区では、まず財務アプリケーションをきめ細かいポリシーでリングフェンスした後、それよりも重要度の低い資産に追加のセキュリティ層を適用する予定です。これにより、今後データ漏えいが生じてもその影響を最小限に抑えることができます。

脅威検知と対応力

さらに、このプラットフォーム独自の脅威検知機能と動的ディセプション機能を利用することで、潜在的な脅威をこれまで以上に迅速に検知し、対応できるようになると学区は考えています。

その他の詳細については、akamai.com/guardicore をご覧ください。



私が Akamai を選んだ理由は、このプラットフォームを単なる運用ツールではなく、セキュリティ製品として考えたからです。

米国の学区、CISO